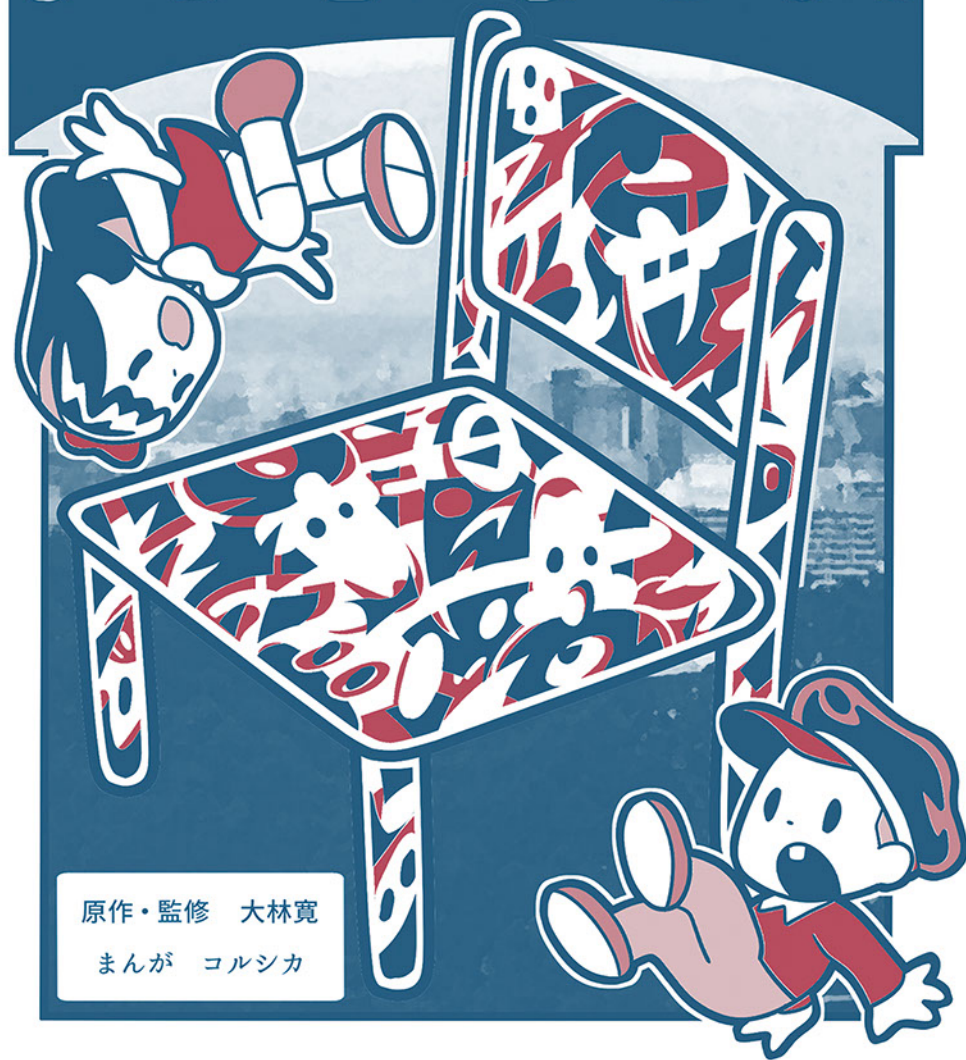
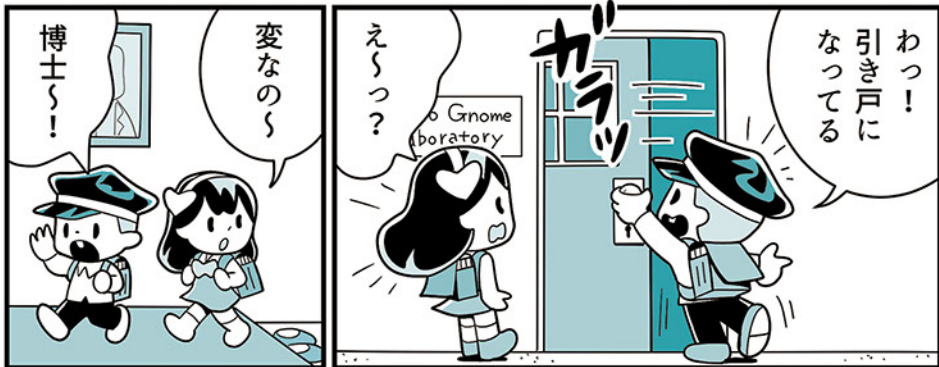
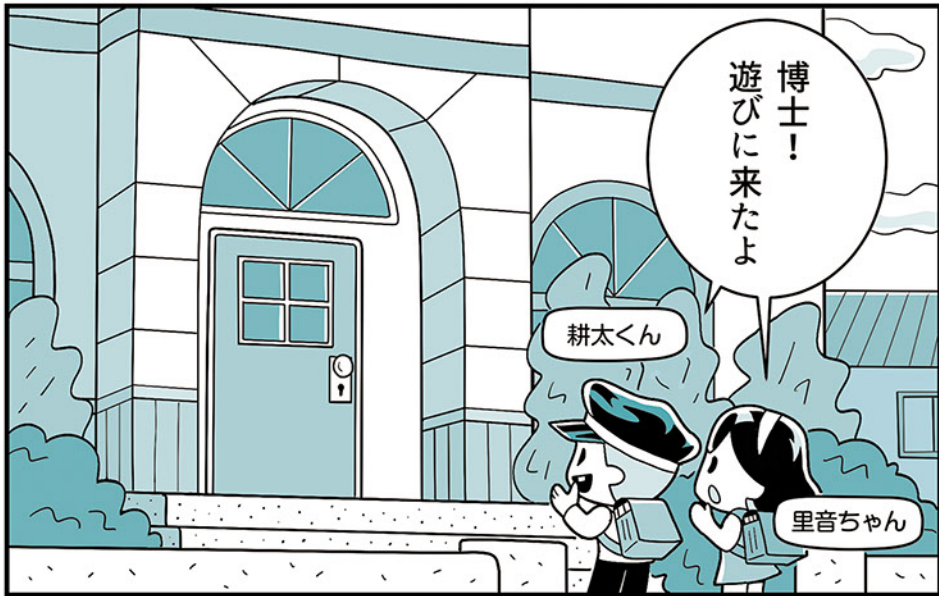




学習まんが アフオーダンス

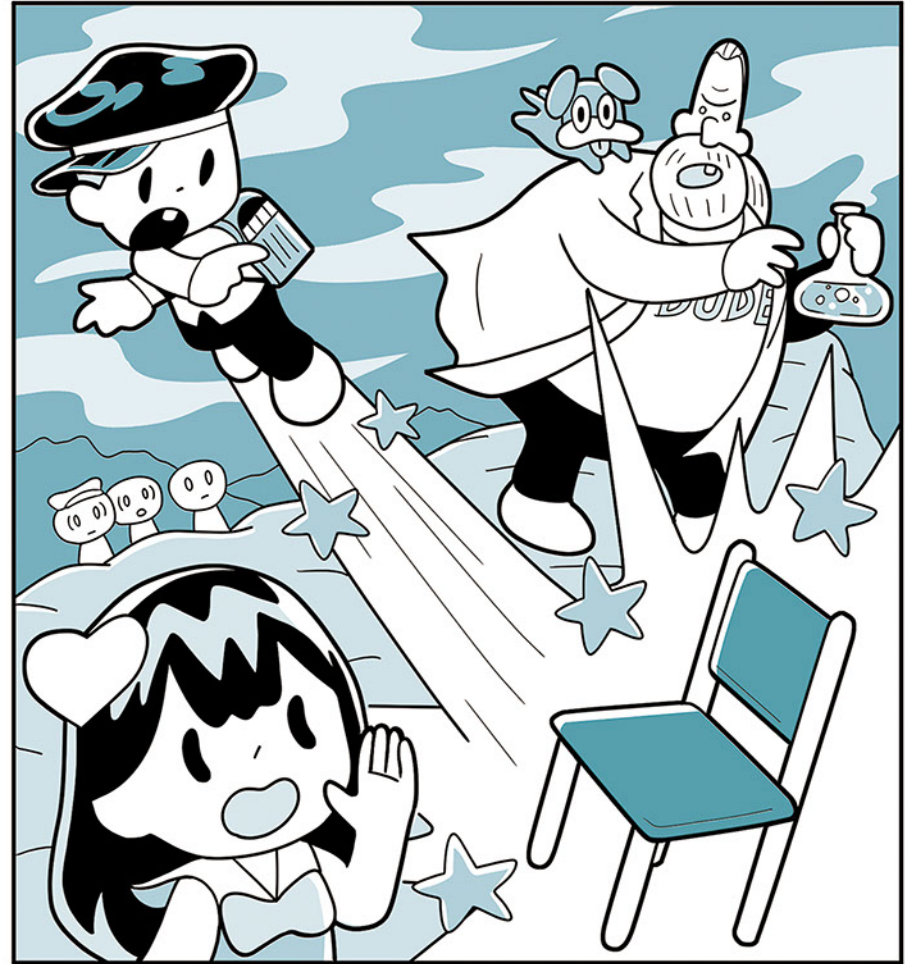


原作・監修 大林寛
まんが コルシカ

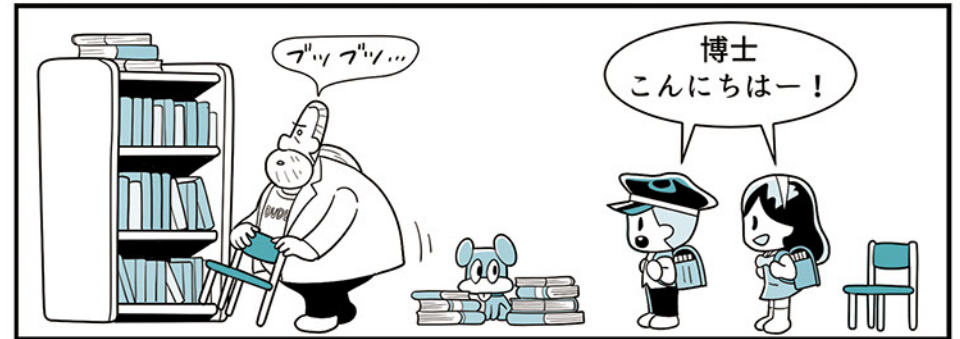
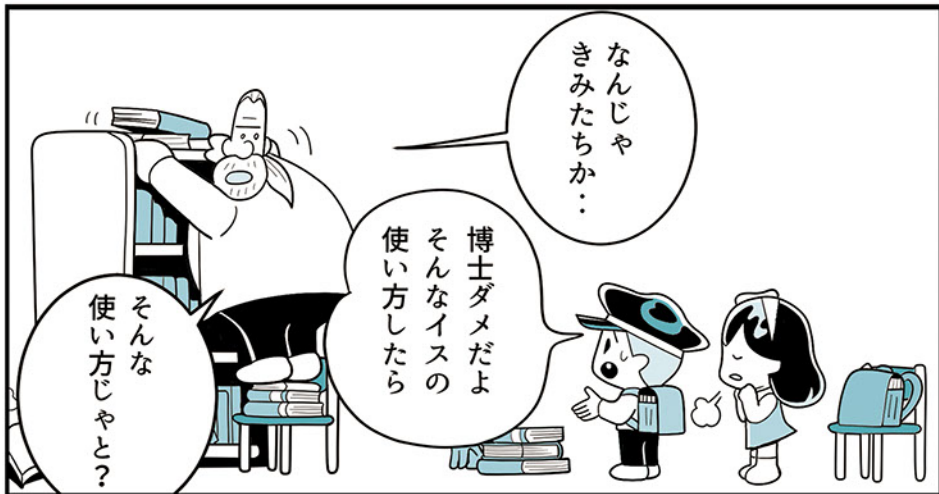
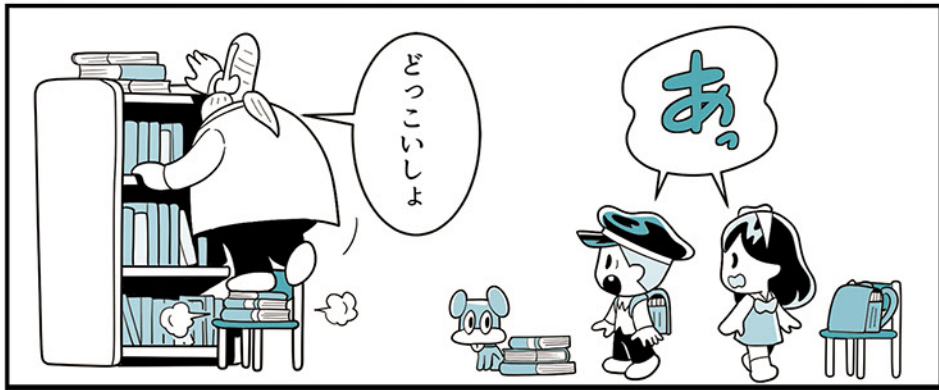


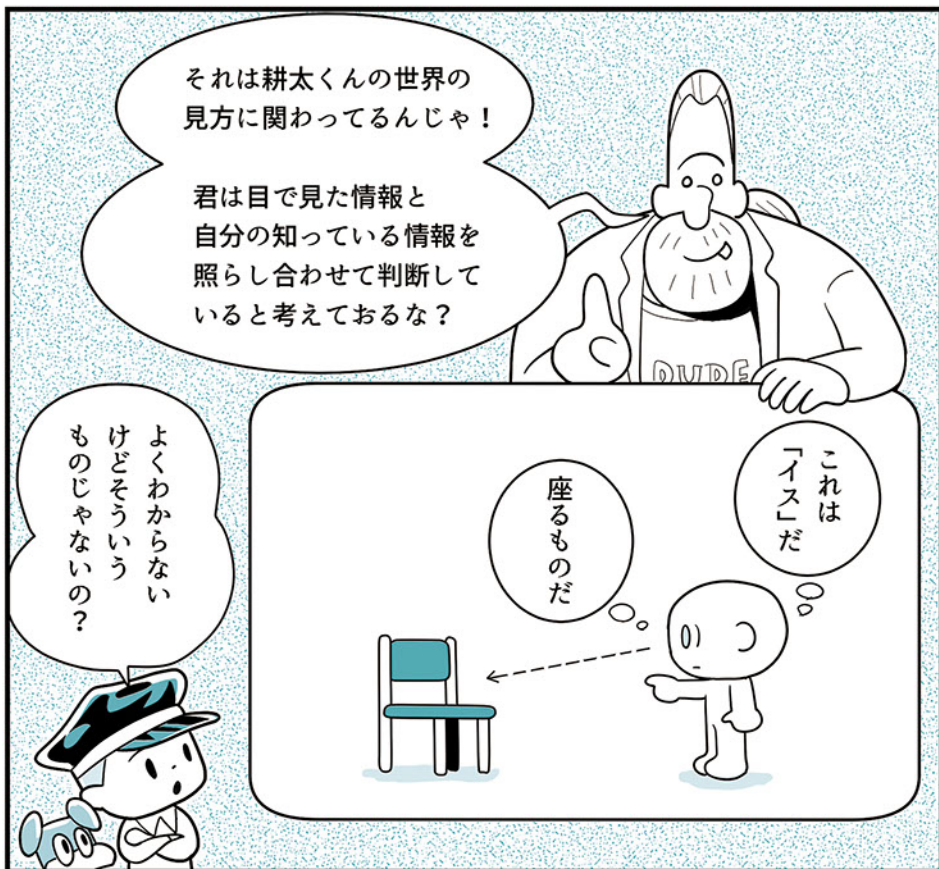
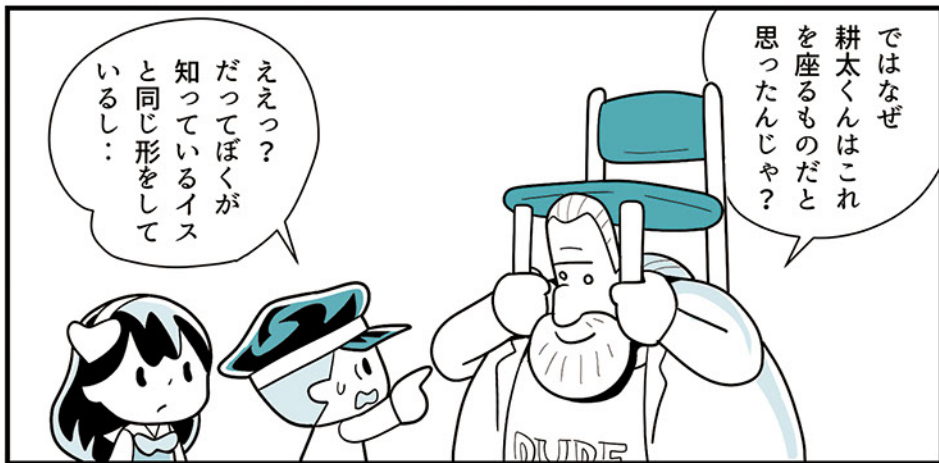
学 習 ま ん が

アフオーダンス

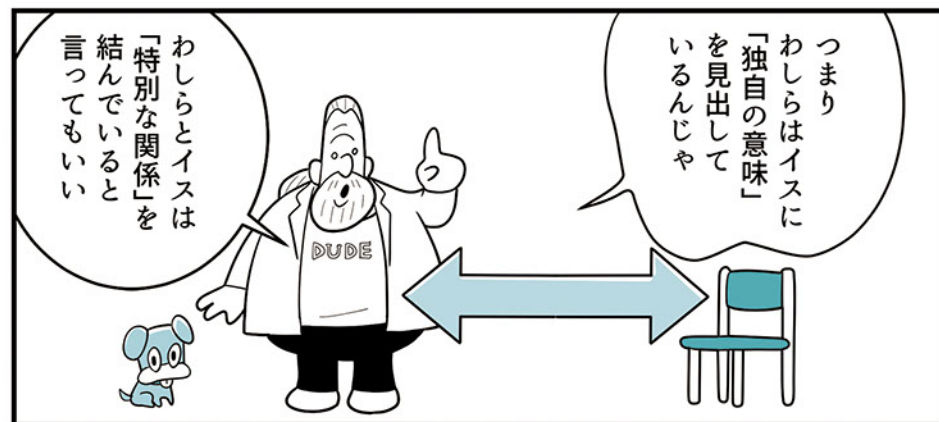


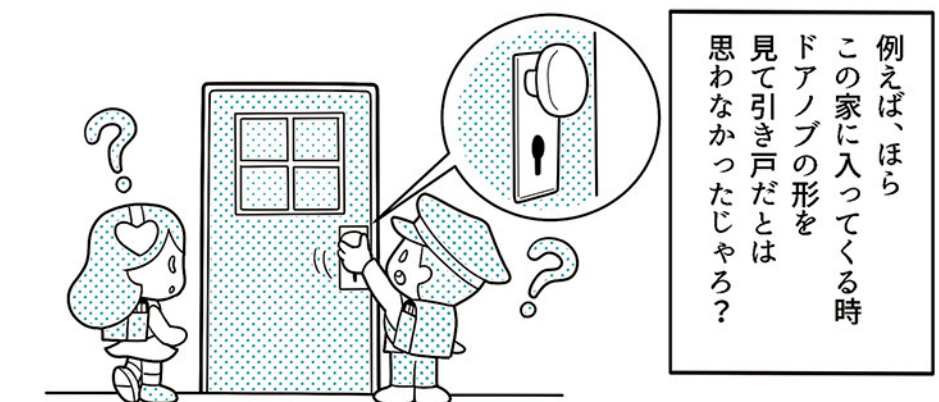
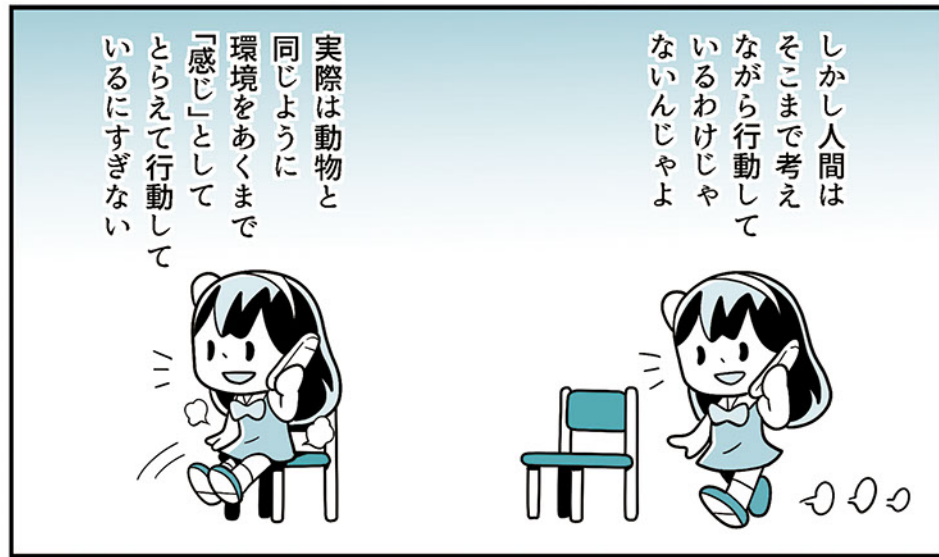
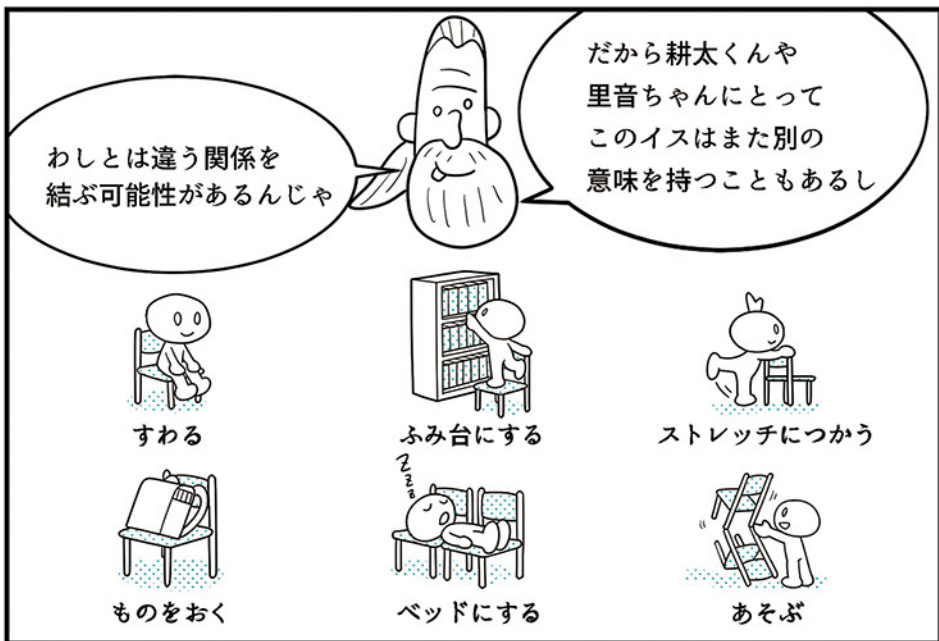
原作・監修 大林寛 まんが コルシカ



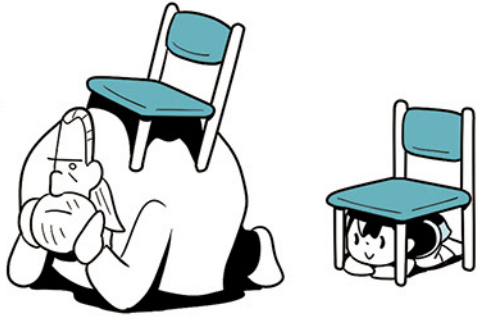


① イスもつかいよう

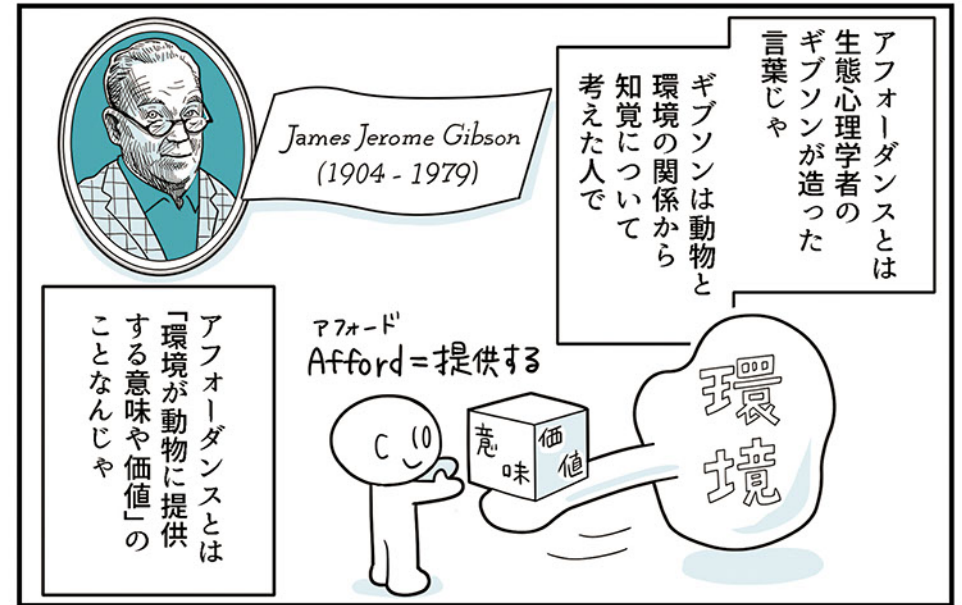
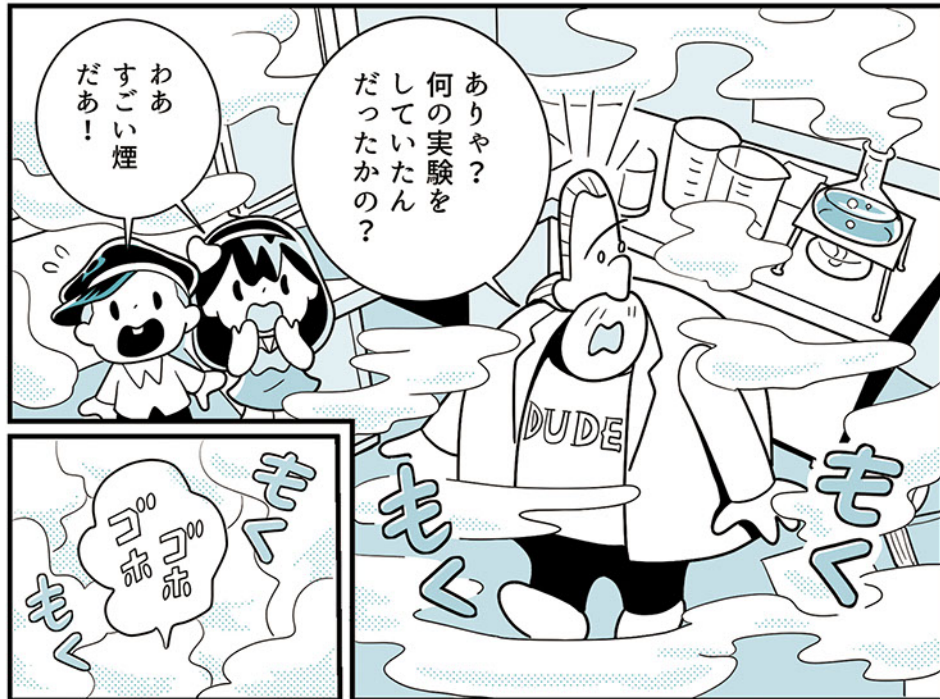


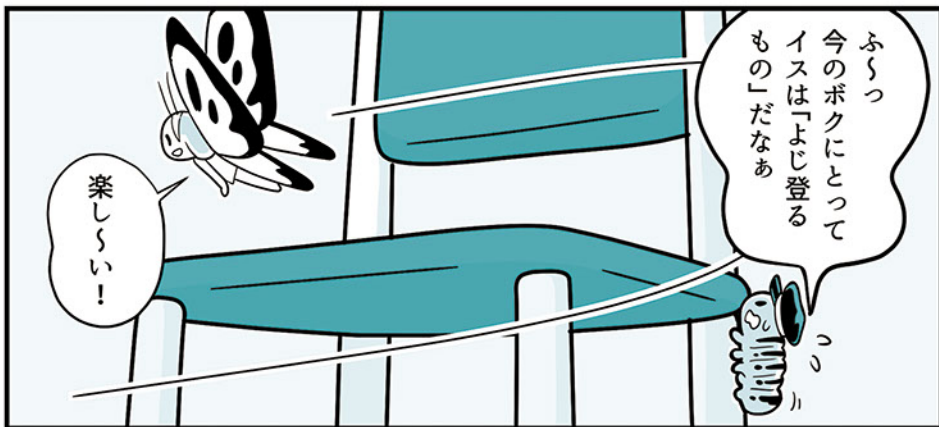
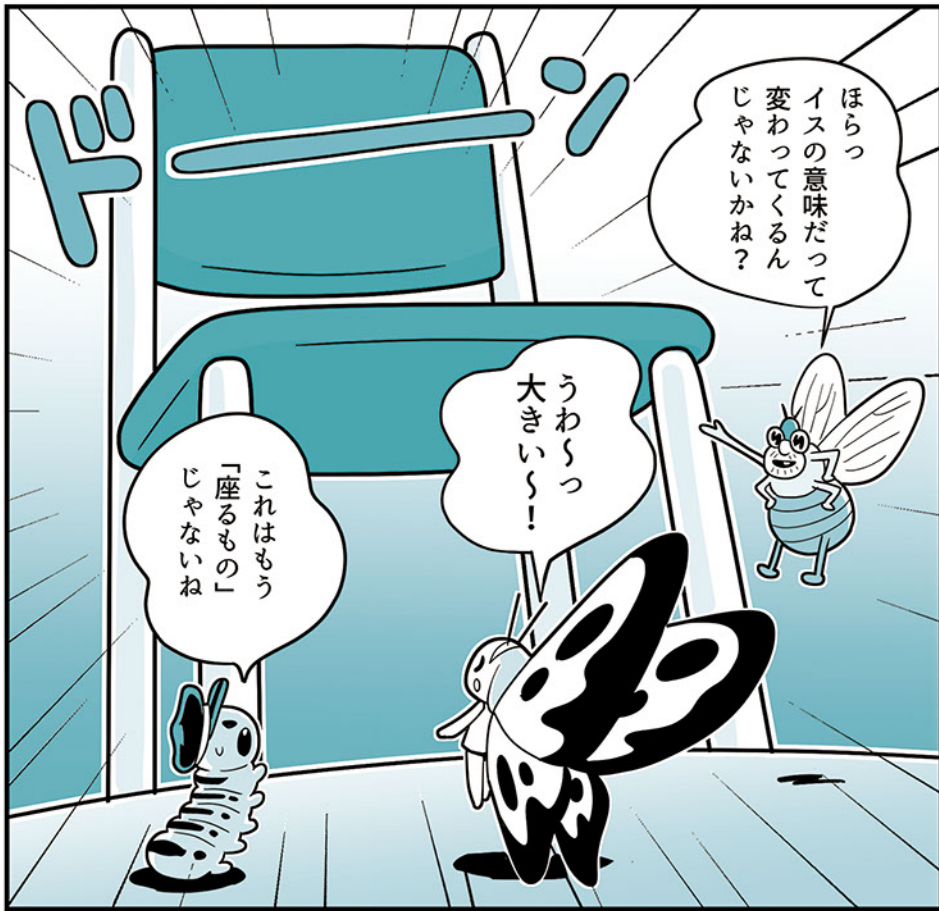


わしの体の大きさと
そんなことは出来ない
だからイスとの
関係によって「意味」が
決まるんじゃない

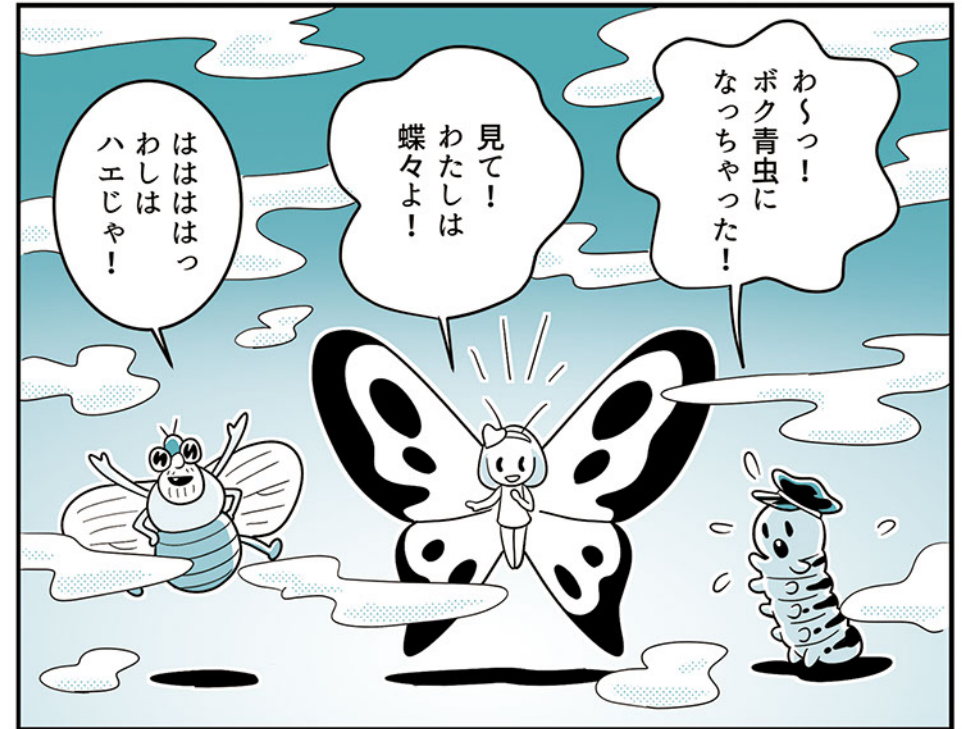


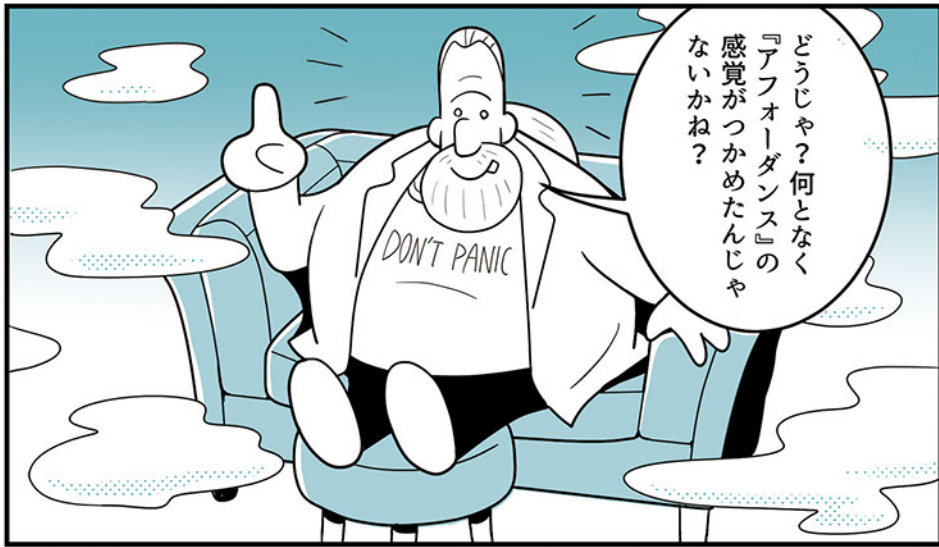
さつき里音ちゃんが
イスに隠れることが
できたのは、イスが元々
そのような価値を
持っていたからじゃ



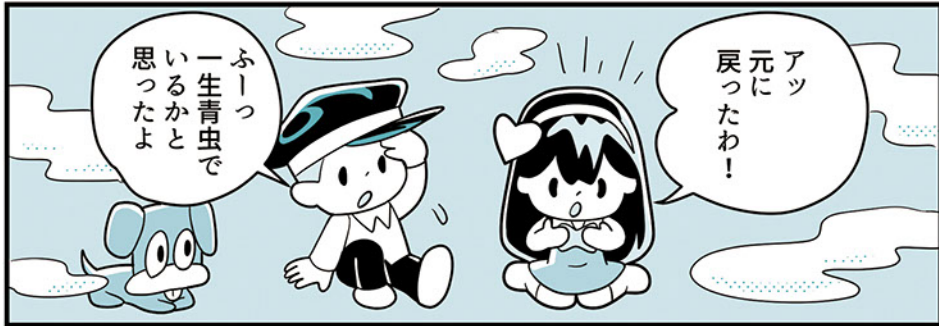


② どうぶつとかんきょうのかんけい





どうじゃ？何となく『アフォーダンス』の感覚がつかめたんじゃないかね？



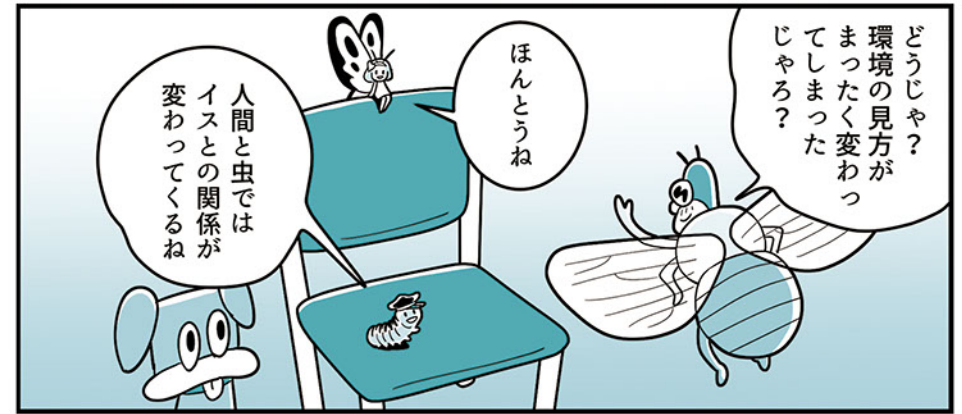
ふーっ一生青虫でいるかと思っただよ

アッ元に戻ったわ！



じゃあお次はわしらが環境をどう見ているか改めて考えてみよう

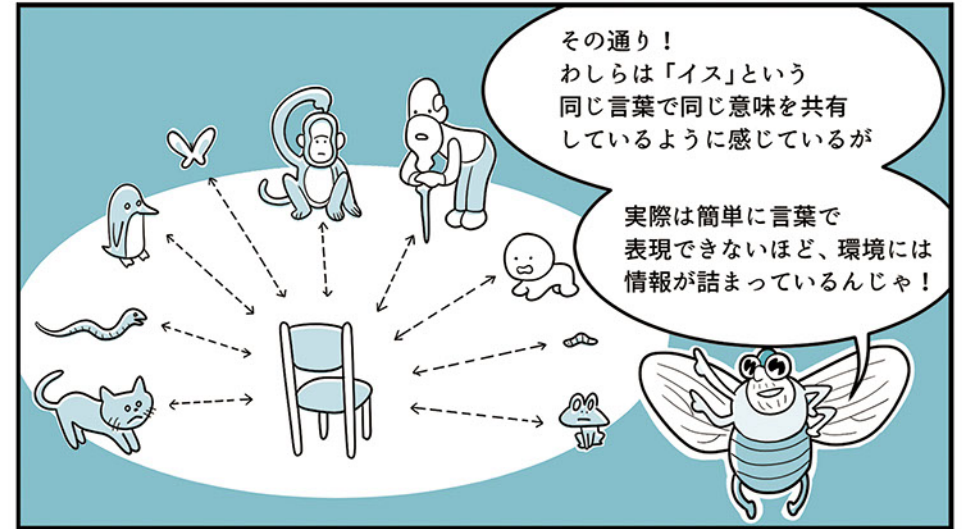
このハイパーリアリスティックスコープをかけて…と



どうじゃ？環境の見方がまったく変わってしまったじゃろ？

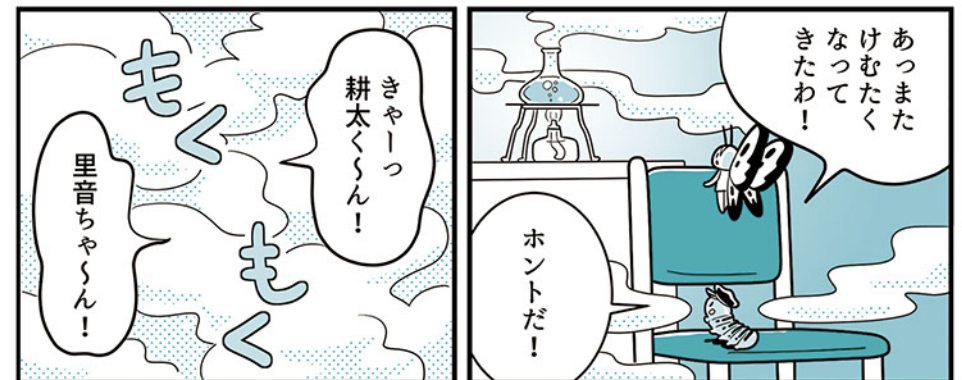
ほんとうね

人間と虫ではイスとの関係が変わってくるね



その通り！
わしらは「イス」という同じ言葉で同じ意味を共有しているように感じているが

実際は簡単に言葉で表現できないほど、環境には情報が詰まっているんじゃない！

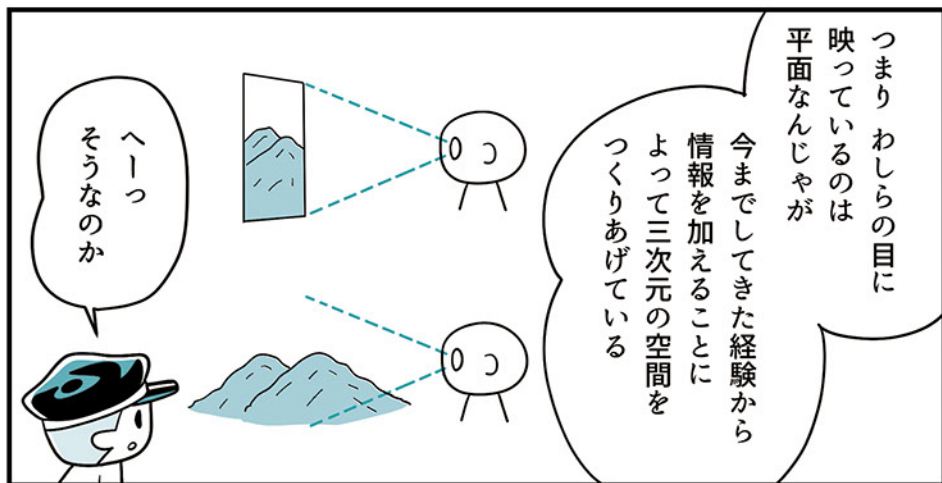


あつまたけむたくなってきたわ！

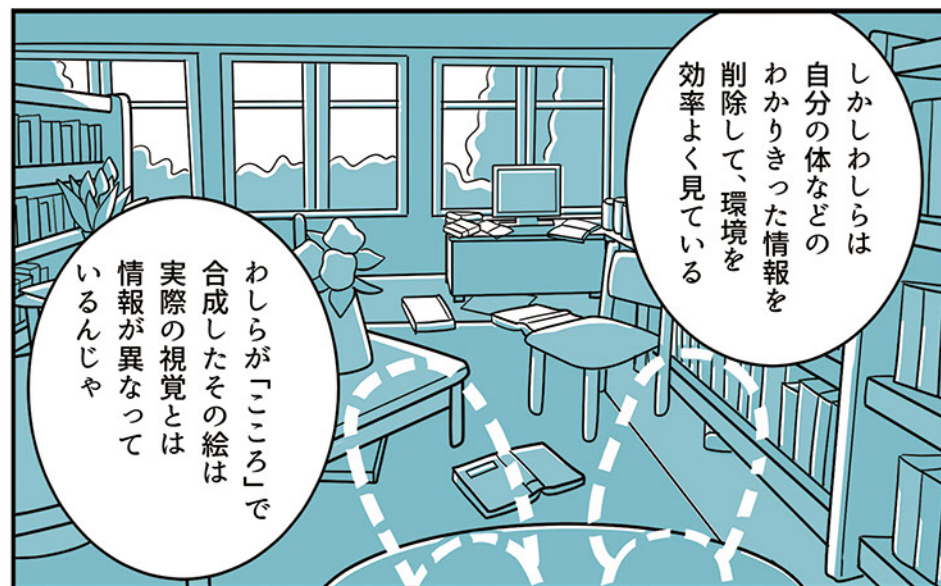
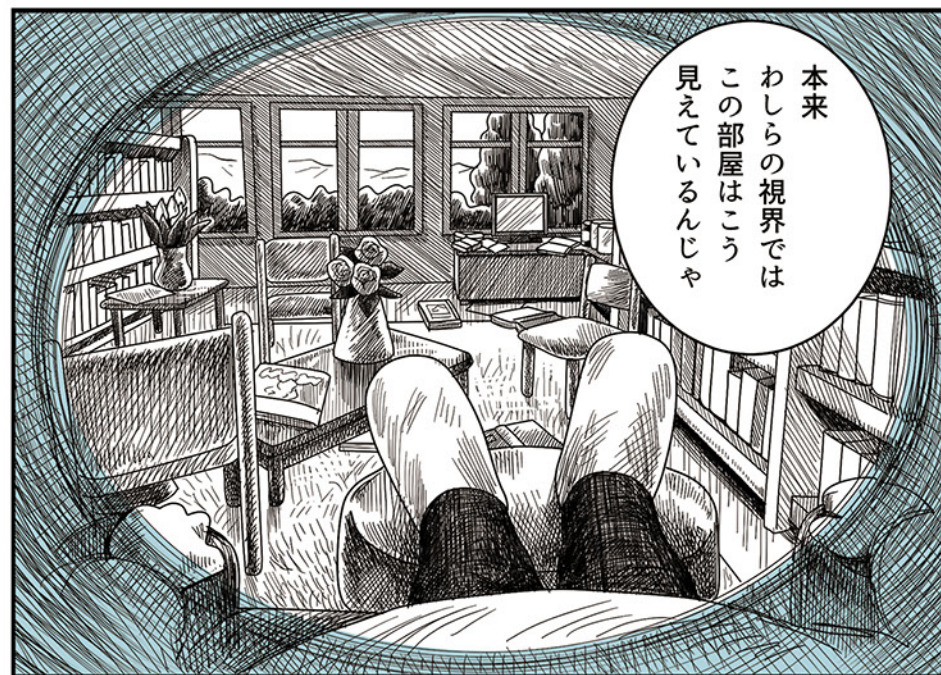
ホントだ！

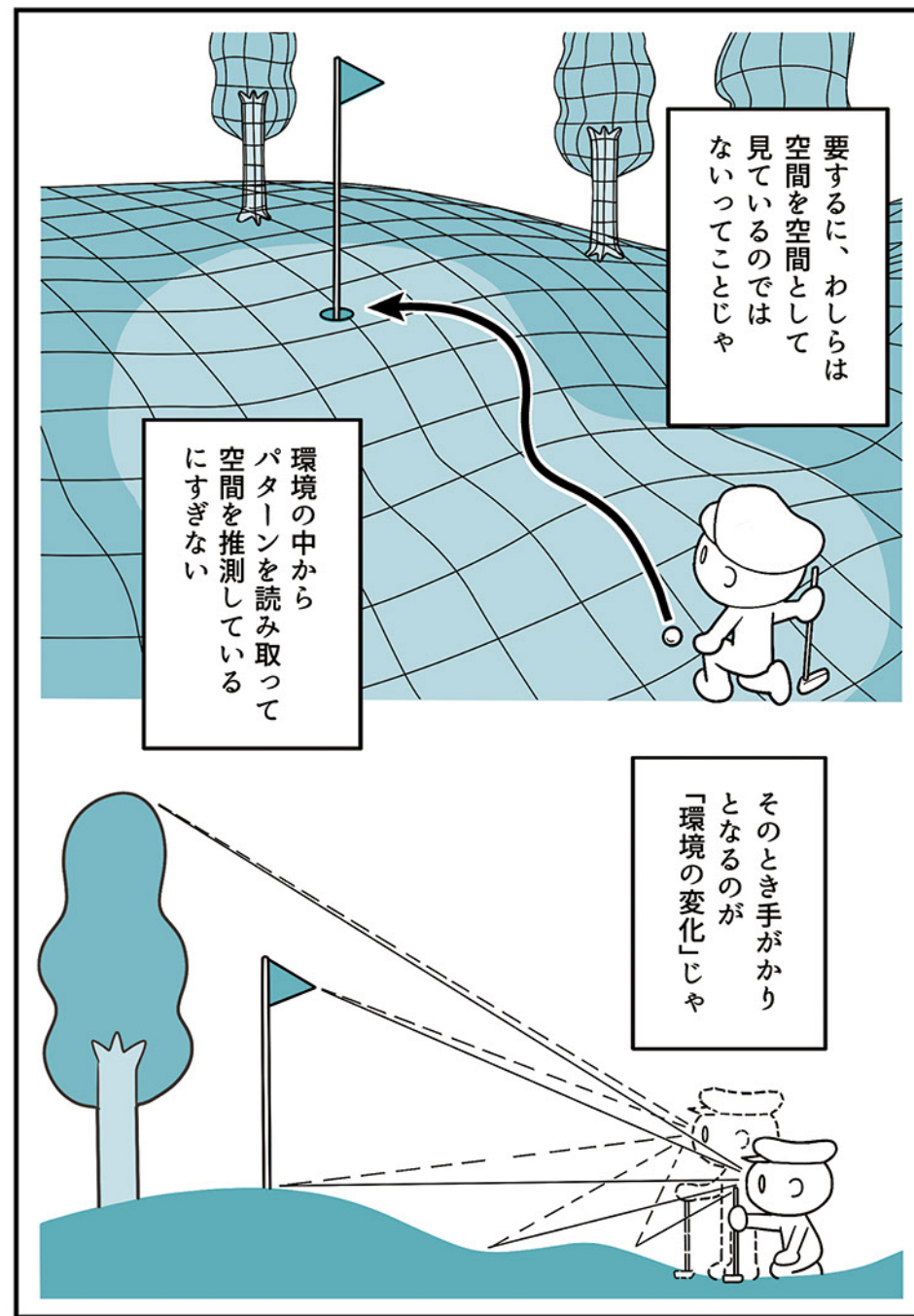
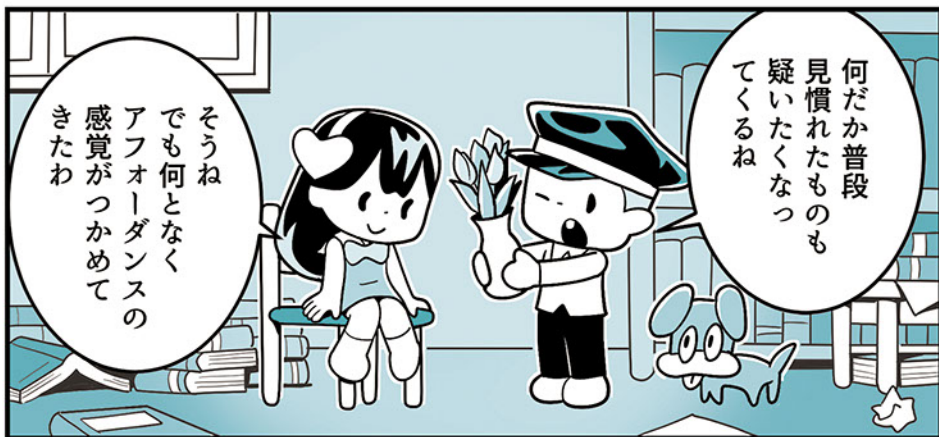
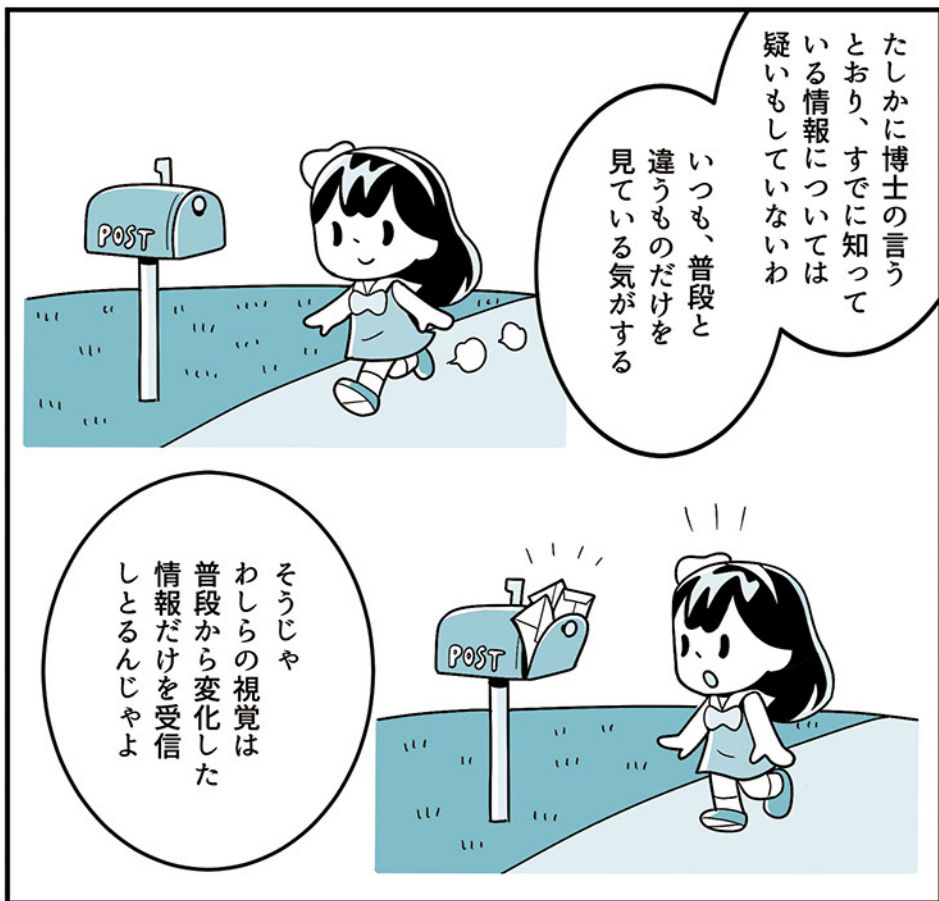
きやーっ 耕太くん！

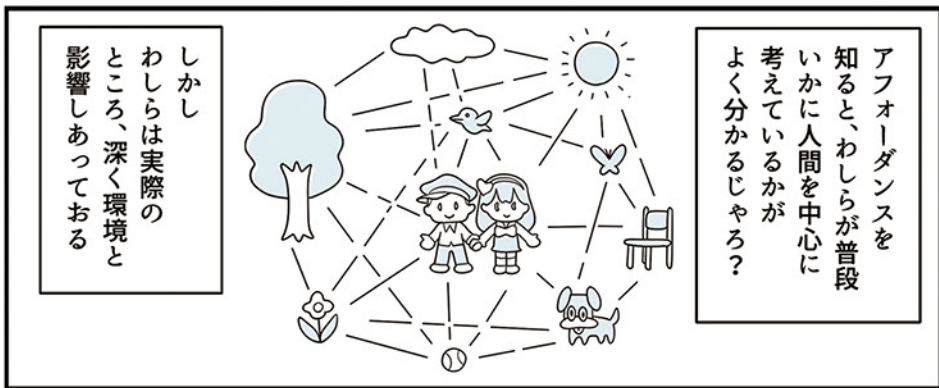
もくもく 里音ちゃん！



③ アフロダンスのせかい

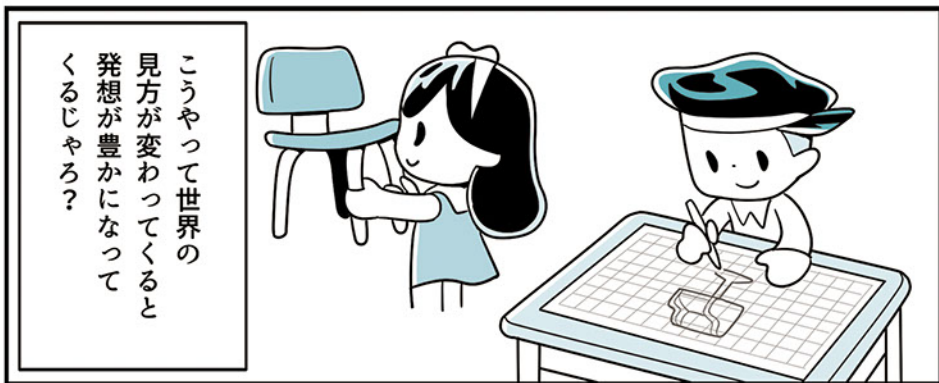






しかし
わしらは実際の
ところ、深く環境と
影響しあっておる

アフォーダンスを
知ると、わしらが普段
いかに人間を中心に
考えているかが
よく分かるじゃろ？



こうやって世界の
見方が変わってくると
発想が豊かになって
くるじゃろ？



この漫画を
見てくれる人たちが
ぼくらの見方が
変わってきたかな？



そうね！
いろんなことが
とっても新鮮に
感じられて
楽しいわ！

そうだね！

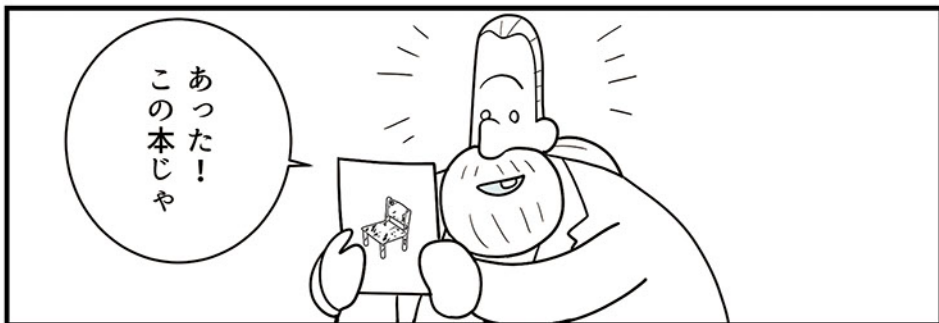
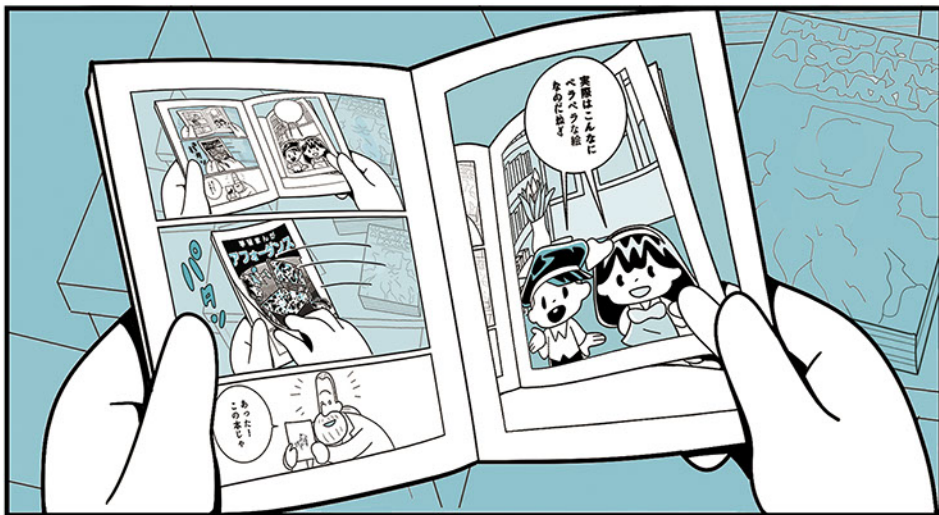


イスはわしらに
意味を与えようと
しているわけでは
ないんじゃない

環境にある「事実」として
イスには「座れる」という
意味があるだけであって
わしらはそれを選んで
いるにすぎない

わしらに対する
刺激でも、わしらの
印象でもなく、
ただ情報として
そこにある

わしらがそれまで
してきた経験や個性
によって、その意味が
決まるんじゃない





ギブソンの思想を継承するギブソニアンの一に、エドワード・リードという心理学者がいます。彼はギブソンの思想のルーツを探り、系譜として体系化しました。そこで中心となったのが、経験というものの捉え方でした。

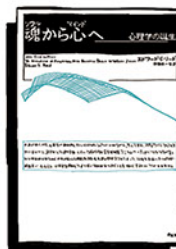
佐々木正人, エドワード・S. リード 他
『アフォーダンスの構想 - 知覚研究の生態心理学的デザイン』



エドワード・S・リード
『アフォーダンスの心理学 — 生態心理学への道』
『経験のための戦い - 情報の生態学から社会哲学へ』
『魂(ソウル)から心(マインド)へ — 心理学の誕生』



経験を中心に人間の意識と行動を考えた、ウィリアム・ジェームズの本。アメリカ最初の心理学者と言われる彼の本は、ギブソンも愛読して影響を受けていたそうです。



ウィリアム・ジェームズ
『純粋経験の哲学』

最後に、思想としてのアフォーダンスや生態心理学を、人間と世界の間を考えるとところまで応用した、すばらしい二冊を紹介します。



吉岡洋
『「思想」の現在形 — 複雑系・電腦空間・アフォーダンス』



河野哲也
『エコロジカルな心の哲学 - ギブソンの実在論から』

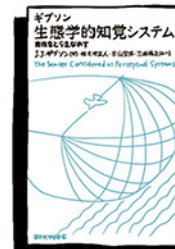
もっとアフォーダンスを知るために

この漫画でアフォーダンスに興味を持ち、さらにくわしく知りたくなった方に、いくつか書籍を紹介します。



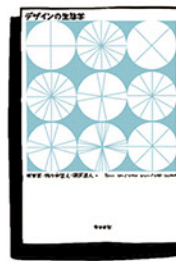
まずはギブソンの基本図書二冊。とくに『生態学的視覚論』は、彼のアフォーダンス研究の集大成となっています。

ジェームズ・J・ギブソン
『生態学的視覚論 — ヒトの知覚世界を探る』
『生態学的知覚システム — 感性をとらえなおす』



残念ながら、ギブソンの本はなかなか取っ付きにくいので、アフォーダンスの成り立ちがやさしく解説されている、佐々木正人さんの本をいくつか紹介します。

佐々木正人
『アフォーダンス - 新しい認知の理論』
『アフォーダンス入門 - 知性はどこに生まれるか』



デザインは対象物と環境の関係を考えながらするものなので、デザイナーがリアリティをどう捉えているかが重要になります。この本では、デザインに生態学的アプローチを推奨しており、アフォーダンス理論が詳しく説明されています。

後藤武, 佐々木正人, 深澤直人
『デザインの生態学 — 新しいデザインの教科書』



この学習まんがは、「ÉKRITS / エクリ」のWebサイトでもお読みいただけます。

ÉKRITS エクリ 〈思想としてのデザインを、デザインされたテキストへ〉

ekrits.jp

作者情報

大林 寛 / Hiroshi Obayashi

「ユーザーとの関係を観察し、経験の質を考え、メディアをデザインする」設計事務所、株式会社 OVERKAST (overkast.jp) 代表。「ÉKRITS / エクリ」(ekrits.jp) 発行人。書籍『Intertwined: 錯綜する世界/情報がすべてを変える』監修。東洋美術学校クリエイティブデザイン科 UX デザイン講師。

コルシカ / Corsica

漫画家。1983年東京生まれ東京育ち。日本デザイナー学院グラフィックデザイン科卒。美学校「絵と美と画と術」第七期生。フリーのイラストレーター、クノケイスケとしても活動しており、多くの商業イラストを手がけている。漫画家コルシカのページ <http://kunocorsica.tumblr.com/>
Facebook ページ <https://www.facebook.com/Kunotocorsica>

学習まんが「アフォーダンス」

2015年10月4日 初版初刷発行

著者 大林寛 (原作・監修)
コルシカ (まんが)
発行人 クノケイスケ
編集協力 株式会社オーバーキャスト エクリ編集部
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-2 吉川ビル 2 階
<http://ekrits.jp/>
印刷 レトロ印刷 JAM

© 2015 Hiroshi Obayashi / Corsica (Keisuke Kuno)
Published by Keisuke Kuno
Printed in Japan

本書は、著者によって学校教育のための非営利目的での利用が認められています。この利用法及びその他著作権法で認められた例外を除き、本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、禁じられております。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ教育現場、個人や家庭内での利用を目的とする場合でも、著作権法違反となります。

本書についてのお問い合わせは、以下のページより、エクリ編集部までお寄せください。
<http://ekrits.jp/contact/>